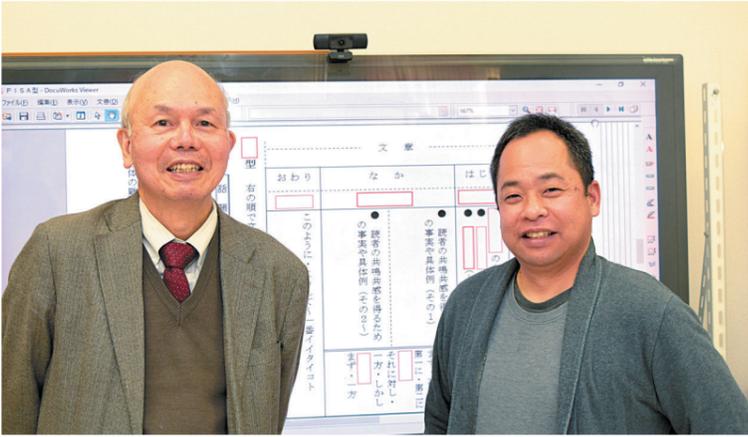


教育改革へ対応 個別指導の咲塾が朝日塾宙SOLAと連携



連携する咲塾の萬成利貴塾長（右）と朝日塾宙SOLAの小島達也校長

個別指導塾の咲塾（倉敷市南町）は、小・中・高校生を対象にした学習塾から小学生向けのそろばん、英語教室まで、子どもたち一人一人に合った多彩な指導教室を運営しています。教育界はいま大きな変革期を迎え、子どもたちはより高度な思考力・判断力・表現力が求められるようになりました。そうした中、咲塾では中学受験に実績のある朝日塾宙SOLA（岡山市北区駅元町）と連携。倉敷市内に3月、中学受験専門の学習塾「咲塾宙SOLA」を開校し、小学生から「生きる力」を養う実践的な教育に力を入れます。新たな取り組みを始める咲塾の萬成利貴塾長と朝日塾宙SOLAの小島達也校長に、教育改革の中身や連携の狙いなどを話してもらいました。

（本文敬称略）

倉敷に中学受験専門学習塾「咲塾宙SOLA」を3月開校

大きく変わる教育・受験環境
問われる思考力・判断力・表現力

2024年度 大学入試が大きく変わる
学習指導要領改訂のスケジュール

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
小学校		2020年度から全面实施			
中学校			2021年度から全面实施		
高等学校				2022年度から年次進行で実施	

文部科学省「学習指導要領について」より作成

2024年度の大学入試は、22年度から高校でスタートする新しい教育を3年間学んできた生徒たちが最初に受けることになります。



個別対応で生徒の個性を把握し、的確な指導を行う咲塾の授業

萬成 子どもたちの教育を取り巻く環境が大きく変わっています。2020年度の大学入試改革に見られるように、より高い思考力や判断力、表現力が問われるようになりました。

小島 社会に出ると「正解のない問題に、自分なりの答えを出していかなければなりません。単なる知識の習得だけでなく、応用力や論理的思考、さらには自分で問題解決方法を考え実践する力が求められます。2020年に改訂された学習指導要領では、「生きる力」を身に付ける方向へカリキュラムが変わりました。既に20年度から小学校、21年度から中学校で新学習指導要領が全面实施され、今年から高校でもスタートします。そうした新しい教育内容が反映された初めての大学入試が24年度に実施される。教育界における大改革と言えます。

萬成 具体的には、どのような入試問題が出題されるか、

06年、倉敷を拠点に個別指導塾を開校しました。小学部では読み・書き・そろばんといった基本学力を身に付けることを重視。算数では、低学年のうちに「空間把握能力」や「数の概念」を獲得できるように指導しています。3月に中学受験の専門学習塾「咲塾宙SOLA」を開校しますが、その中で特に重視している

基本学力に加え、国語力アップを「適性検査型」入試にも対応

萬成 私ども咲塾は「教育で地域社会に貢献する」をモットーに2006年、倉敷を拠点に個別指導塾を開校しました。小学部では読み・書き・そろばんといった基本学力を身に付けることを重視。算数では、低学年のうちに「空間把握能力」や「数の概念」を獲得できるように指導しています。3月に中学受験の専門学習塾「咲塾宙SOLA」を開校しますが、その中で特に重視している

小島 慶応義塾大学SFC環境情報学部の昨年の入試では、世の中にありふれた常識をどう受け止めるか、あるいは常識をどう活用するか、といった問題が出題されました。これは、単に知識を覚えているだけでは解決し、残すに足る力を創造できるのかを問う必要があると、自分が感じる不条理をどう受け止めるか、それをどう活用するか、といった問題が出題されました。

萬成 今後、こうした「生きる力」、実践力を身に付けさせる指導が必要だと痛感。それが朝日塾宙SOLAとの連携によるのが面接対策です。小島先生は「面接のツボ」というテキストを独自で作成し、年間20回もの面接練習をしています。本

小島 近年の中学受験は、公立中高一貫校を中心に「適性検査型」が主流になってきています。単なる穴埋めや選択式ではなく、記述での解答が求められる入試形式です。個々の内容と理由をそれぞれ簡潔に記述する問題が出題されました。さらに、その中から3つを取り上げ、解決の方向性と方法について力点となる技術革新・アイデアを含め、できるだけ具体的な定量的かつビジュアルに説明するよう求められました。要するに正解はないが、あなた自身が問題に対してどういう答えを出していくのかを説明せよ、と問われているわけです。

萬成 咲塾は高校・大学受験がメインの進学塾です。小島先生と交流が蓄積があり、本校のノウハウをうまく継承して、より早く時期から新学習指導要領に沿った「生きる力」、実践力を身に付けさせる指導が必要だと痛感。それが朝日塾宙SOLAとの連携によるのが面接対策です。小島先生は「面接のツボ」というテキストを独自で作成し、年間20回もの面接練習をしています。本

小島 近年の中学受験は、公立中高一貫校を中心に「適性検査型」が主流になってきています。単なる穴埋めや選択式ではなく、記述での解答が求められる入試形式です。個々の内容と理由をそれぞれ簡潔に記述する問題が出題されました。さらに、その中から3つを取り上げ、解決の方向性と方法について力点となる技術革新・アイデアを含め、できるだけ具体的な定量的かつビジュアルに説明するよう求められました。要するに正解はないが、あなた自身が問題に対してどういう答えを出していくのかを説明せよ、と問われているわけです。

萬成 今後、こうした「生きる力」、実践力を身に付けさせる指導が必要だと痛感。それが朝日塾宙SOLAとの連携によるのが面接対策です。小島先生は「面接のツボ」というテキストを独自で作成し、年間20回もの面接練習をしています。本

小島 近年の中学受験は、公立中高一貫校を中心に「適性検査型」が主流になってきています。単なる穴埋めや選択式ではなく、記述での解答が求められる入試形式です。個々の内容と理由をそれぞれ簡潔に記述する問題が出題されました。さらに、その中から3つを取り上げ、解決の方向性と方法について力点となる技術革新・アイデアを含め、できるだけ具体的な定量的かつビジュアルに説明するよう求められました。要するに正解はないが、あなた自身が問題に対してどういう答えを出していくのかを説明せよ、と問われているわけです。

萬成 咲塾は高校・大学受験がメインの進学塾です。小島先生と交流が蓄積があり、本校のノウハウをうまく継承して、より早く時期から新学習指導要領に沿った「生きる力」、実践力を身に付けさせる指導が必要だと痛感。それが朝日塾宙SOLAとの連携によるのが面接対策です。小島先生は「面接のツボ」というテキストを独自で作成し、年間20回もの面接練習をしています。本

小島 近年の中学受験は、公立中高一貫校を中心に「適性検査型」が主流になってきています。単なる穴埋めや選択式ではなく、記述での解答が求められる入試形式です。個々の内容と理由をそれぞれ簡潔に記述する問題が出題されました。さらに、その中から3つを取り上げ、解決の方向性と方法について力点となる技術革新・アイデアを含め、できるだけ具体的な定量的かつビジュアルに説明するよう求められました。要するに正解はないが、あなた自身が問題に対してどういう答えを出していくのかを説明せよ、と問われているわけです。

萬成 咲塾は高校・大学受験がメインの進学塾です。小島先生と交流が蓄積があり、本校のノウハウをうまく継承して、より早く時期から新学習指導要領に沿った「生きる力」、実践力を身に付けさせる指導が必要だと痛感。それが朝日塾宙SOLAとの連携によるのが面接対策です。小島先生は「面接のツボ」というテキストを独自で作成し、年間20回もの面接練習をしています。本

小島 近年の中学受験は、公立中高一貫校を中心に「適性検査型」が主流になってきています。単なる穴埋めや選択式ではなく、記述での解答が求められる入試形式です。個々の内容と理由をそれぞれ簡潔に記述する問題が出題されました。さらに、その中から3つを取り上げ、解決の方向性と方法について力点となる技術革新・アイデアを含め、できるだけ具体的な定量的かつビジュアルに説明するよう求められました。要するに正解はないが、あなた自身が問題に対してどういう答えを出していくのかを説明せよ、と問われているわけです。



▲朝日塾宙SOLA・小島校長が面接のノウハウをまとめた「面接のツボ」。咲塾の中学受験コース受講者に無料配布します

咲塾宙SOLA 開校特典

2月末までに入塾の生徒
入塾金 通常11,000円(税込) **0円**

初月授業料 **0円**

咲塾グループ授業料 **半額**

咲塾・ピコそろばんアカデミー・サキスイイングリッシュ

無料体験授業 個別相談会

咲塾老松校・大高校と、朝日塾宙SOLAで開いています。ぜひ参加ください。

咲塾宙SOLA

咲塾が中学受験専門の個別指導塾として2022年3月に開校。老松校（倉敷市南町10-29）と大高校（倉敷市西中新田137-4）で新規入塾生を受け付けています。

☎086 (441) 5739
倉敷市南町10-29

咲塾宙SOLAのHPはこちら

朝日塾宙SOLA

2004年開校。中学受験の集合授業をメインに、個別指導や独自のメソッドに基づく国語、数学、面接などきめ細かいコース設定と指導をしています。

☎086 (255) 5400
岡山市北区駅元町31-1-2 WITHビル2F

朝日塾宙SOLAのHPはこちら

小島 近年の中学受験は、公立中高一貫校を中心に「適性検査型」が主流になってきています。単なる穴埋めや選択式ではなく、記述での解答が求められる入試形式です。個々の内容と理由をそれぞれ簡潔に記述する問題が出題されました。さらに、その中から3つを取り上げ、解決の方向性と方法について力点となる技術革新・アイデアを含め、できるだけ具体的な定量的かつビジュアルに説明するよう求められました。要するに正解はないが、あなた自身が問題に対してどういう答えを出していくのかを説明せよ、と問われているわけです。

萬成 咲塾は高校・大学受験がメインの進学塾です。小島先生と交流が蓄積があり、本校のノウハウをうまく継承して、より早く時期から新学習指導要領に沿った「生きる力」、実践力を身に付けさせる指導が必要だと痛感。それが朝日塾宙SOLAとの連携によるのが面接対策です。小島先生は「面接のツボ」というテキストを独自で作成し、年間20回もの面接練習をしています。本